

# 最近の沖縄経済の動向

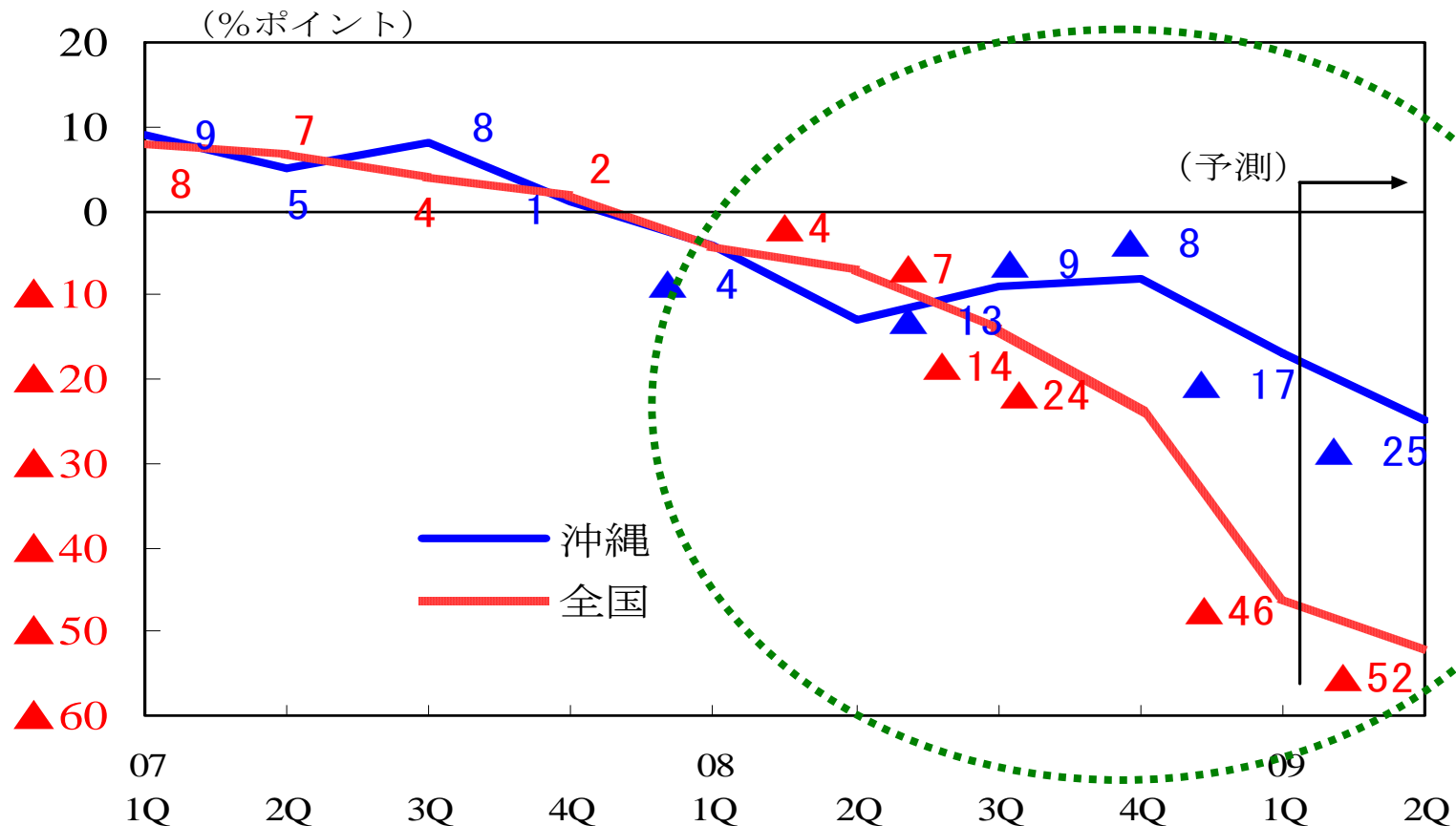
2009年6月26日

日本銀行那覇支店

水口 毅

# 短観(4月1日公表分):

- 沖縄県内でも景況感は悪化。
- 全国のなかでは、その「悪い」超の幅は、最も小さい。



- ・次回短観は来週水曜日7月1日公表。

- ・日銀は、10日前に

「わが国の景気は、大幅に悪化したあと、下げ止まりつつある」

と判断したが、企業が各社自身の「業況」をどのようにみているか、注目される。

- ・沖縄の景気は、昨年秋以降、今年の春頃まで、本土の景気悪化に対して「遅れながらも追隨する」かたちで悪化した。
- ・「遅れながら」となる第一の理由は、産業構造の差。
  - 沖縄に製造業・輸出企業が少ないため、海外発の世界危機の影響を「直接には」受けにくかった。

・「追隨」の経路は、観光、建設、雇用。

—— 観光：本土企業の業績悪化→雇用・所得の悪化→沖縄への観光客減。

—— 建設：本土企業の業績悪化→対沖縄投資の減少→沖縄での建設需要減少。

—— 雇用：本土企業の業績悪化→雇用・所得の悪化→沖縄県の人たちの県外就職の機会減→所得減、県内雇用需給の悪化。

・沖縄の経済に対して、4～6月に、幾つかの「プラス・マイナス」の力が働いた。

1. 新型インフル …… マイナス。一時懸念されたほどではない（弱毒性だったことが主因）。

2. 公共投資、環境対応車優遇、エコポイント …… プラス。  
高速道路ETC割引は沖縄にはマイナス。

3. 景気関連報道、株価 …… 昨年末と比べ相対的にプラス。

県内は、全国対比で景気の悪さがマイルドで、かつ変化にタイムラグを感じる点は、これまでと同様。

足許は、悪化に多少ブレーキがかかってきたとの変化を感じるが、観光、雇用関係は、引続きよくない。

# 今週月曜日6月22日に公表された 法人企業景気予測調査(BSI)について



日銀短観(DI)は、「良い」「悪い」と「水準」で回答を求めている。

他方、法人企業景気予測調査(BSI)は、「上昇」「下降」と「変化の方向」で回答を求めている。

6月22日に公表された調査結果では、このBSIが、全国も沖縄もともに「マイナス」だった。

BSIのマイナスは、「業況が下降しつつある、と答える企業が多いこと」を意味する(はず)。

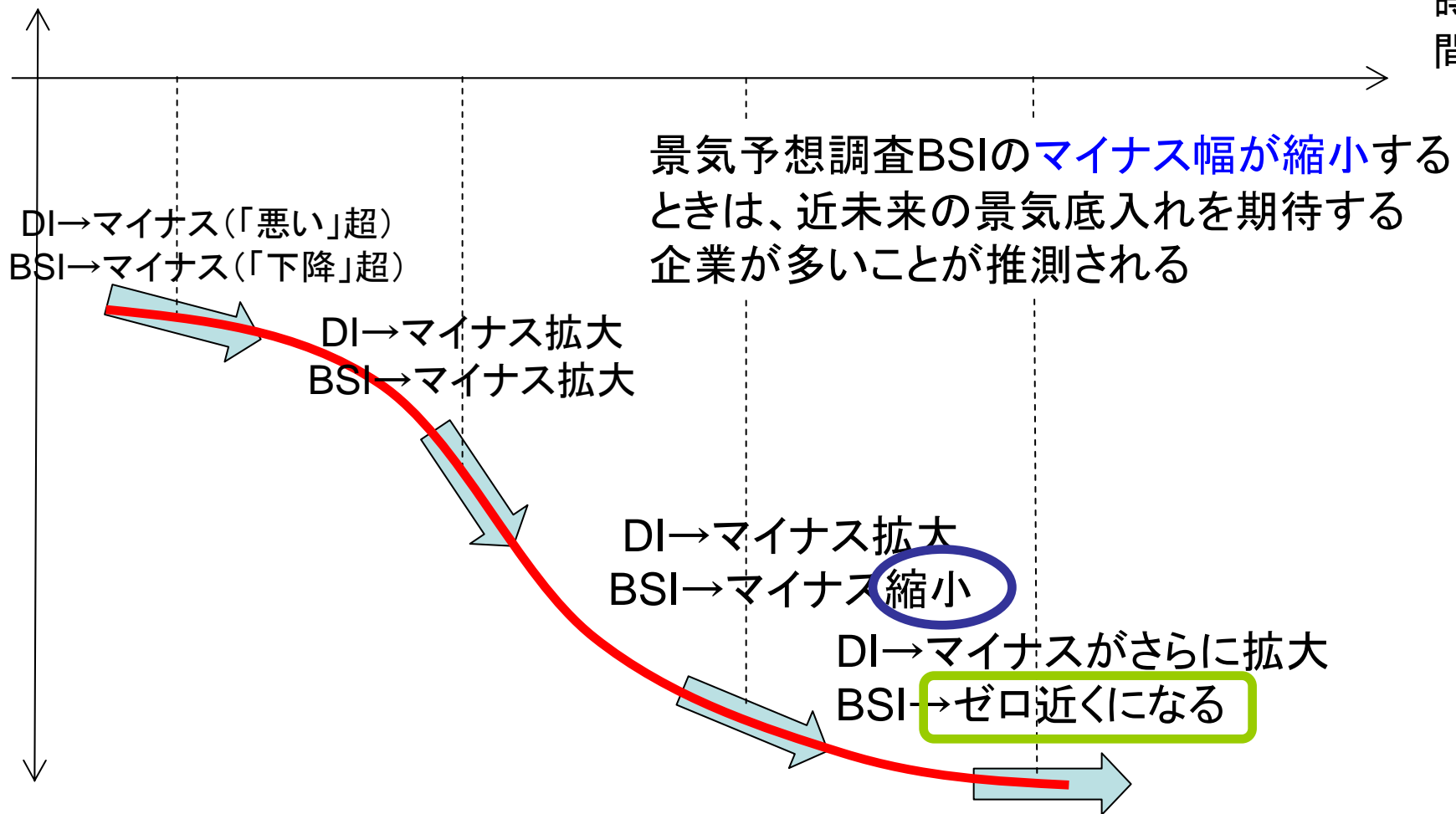
細かく見ると、全国と沖縄で、少し動きが違った

全国：1～3月 ▲51.3→4～6月 ▲22.4とマイナス幅縮小

沖縄：1～3月 ▲19.5→4～6月 ▲27.2とマイナス幅拡大

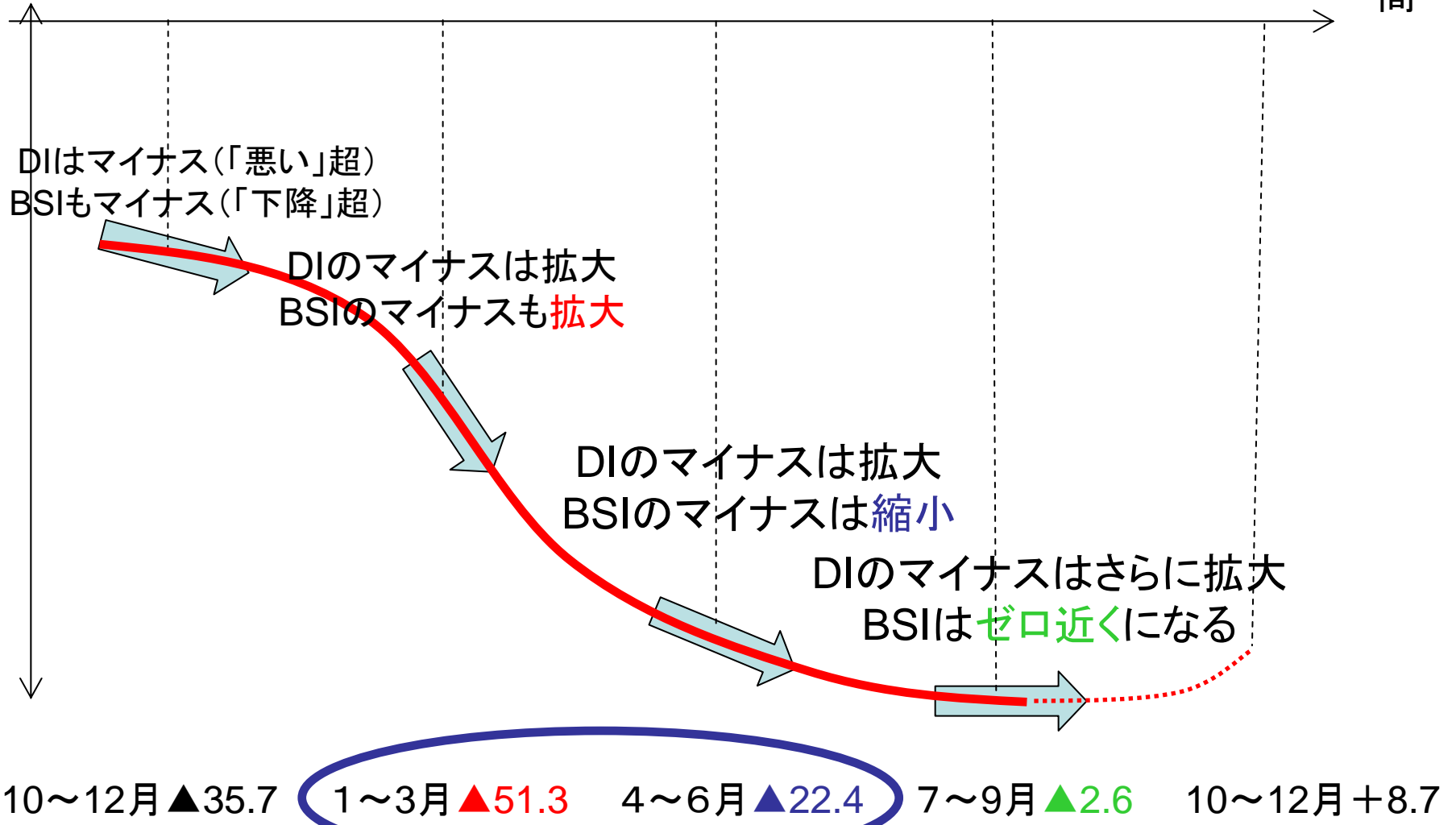
景気の水準

時間



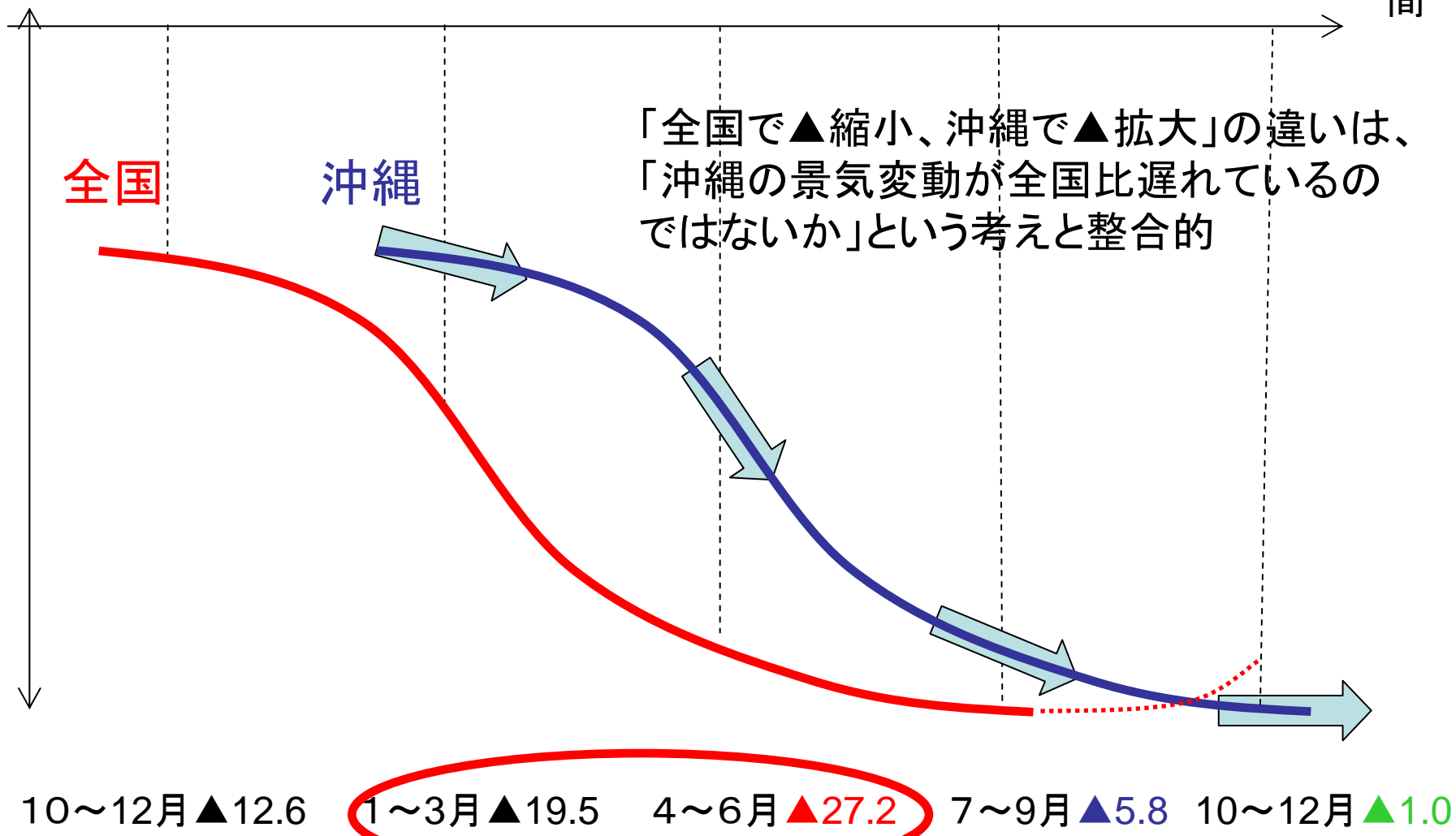
# 全国の法人企業景気予測調査BSI (6月22日発表)

時間



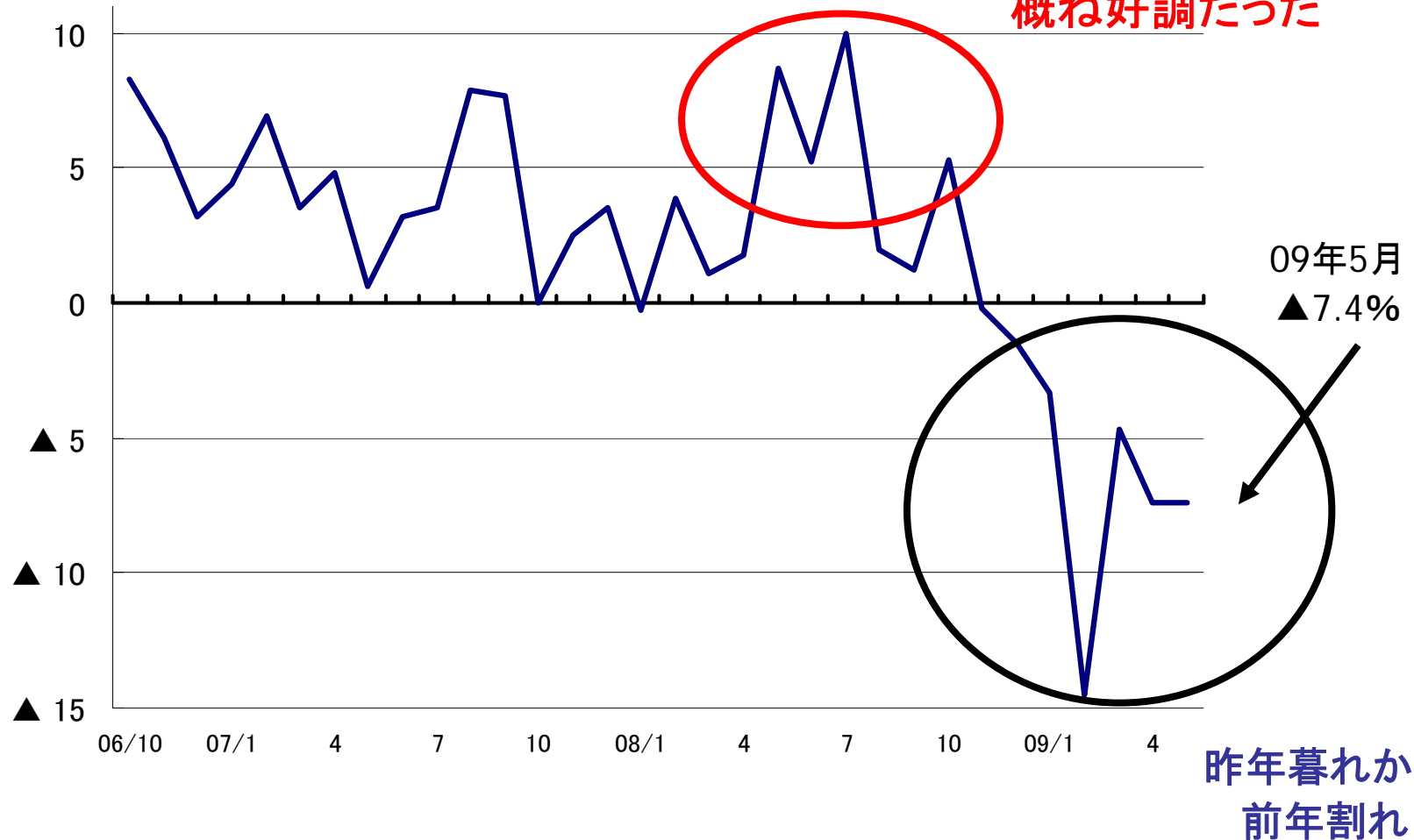
# 沖縄の法人企業景気予測調査BSI

時間



# 沖縄への観光客数は前年を下回っている

昨年春から秋にかけて、  
概ね好調だった



(資料) 沖縄県観光商工部

# 消費者物価上昇率(生鮮食品を除く 総合)の推移

